

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

YCAM performance lounge #7

搬入プロジェクト 山口・中園町計画

2020年7月25日(土) 17時スタート

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、山口市中央公園

巨大物体をYCAMに搬入せよ

あの演劇プロジェクトが山口に初上陸！

山口情報芸術センター [YCAM] では、現在生まれてくつある新しい身体表現の魅力をダイレクトに伝えるシリーズ企画「YCAM performance lounge (パフォーマンス・ラウンジ)」の第7弾として、「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」を実施します。

「搬入プロジェクト」とは、パフォーマンス集団・悪魔のしるしが発案した演劇プロジェクトです。会場となる建物内にかくうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入する様子を一種の「演劇」として提示するという彼らの代表的な作品のひとつです。

初の山口での実施となる今回は、事前に物体を設計するワークショップを開催し、参加者が設計した物体案の中から、実際に搬入する物体を選定。制作した巨大な物体を中央公園から館内1階のホワイエへと搬入します。

「演劇プロジェクト」でありながら、テキストで書かれた「戯曲」が存在せず、また実施する場所によって大きくパフォーマンスの内容も変わる本作の上演は、鑑賞者の存在を含めたパフォーマンス・アーツを取り巻く形式を改めて考える視点を提供するでしょう。この機会にご参加ください。



「搬入プロジェクト」に際してYCAMがおこなった実験の様子
（[写真上] 撮影：吉見峻／[写真下] 撮影：荻原楽太郎）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中央公園7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

新しい身体表現の魅力をダイレクトに伝える ― YCAM performance lounge



YCAM performance lounge #5 contact Gonzo パフォーマンス
(2010年／撮影：丸尾隆一 [YCAM])

YCAMにおける、展覧会や映画上映と並ぶ活動の柱が、ダンスや演劇などのパフォーミング・アーツ作品の上演です。開館以来、国内外の優れたパフォーミング・アーツ作品を紹介するとともに、アーティストと協働しながらメディア・テクノロジーを応用した新作の制作をおこなってきました。

そうした中、YCAMでは、パフォーミングアーツ作品を鑑賞した経験がない、そもそもYCAMのイベントに参加したことがないという方々に向けた公演シリーズとして、「YCAM performance lounge (パフォーマンス・ラウンジ)」を2007年から断続的に開催しています。

このシリーズで紹介される作品の共通点は、多くのパフォーミングアーツ作品では暗黙の了解とされる舞台と客席の境界が取り払われていることです。これにより、俳優やダンサーの熱気や息づかいを間近で感じながら作品を鑑賞することができ、パフォーミング・アーツの魅力を最大限に体感していただける機会となっています。また、このシリーズは新しい身体表現の可能性を探索する気鋭のアーティストや、先端的な作品を紹介する場にもなっており、現在に生まれつつある芸術表現の潮流に触れる機会にもなります。

8年ぶり7回目の開催となる今回は、東京を拠点に活動するパフォーマンス集団・悪魔のしるしの人気の演劇プロジェクト「搬入プロジェクト」を、YCAM向けにアレンジしたかたちで実施します。

■ 過去の開催実績

2007年4月：#1

チェルフィッチュ『三月の5日間』

2007年12月：#2

ログズギャラリー『ガソリンミュージック&クルージング in 山口』

2008年4月：#3

まことクラブ『事情地域〈山口編〉』

2009年5月：#4

東野祥子『ALL LOVES YOU!』

2010年5月：#5

contact Gonzo パフォーマンス+快快『Y時の
はなし』

2012年6月：#6

高嶺格『ジャパン・シンドローム〜山口編』+『いかに考えないか』

入らなそうでギリギリ入る物体を搬入する



「搬入プロジェクト #15 六本木アートナイト」の様子（2014年）

「搬入プロジェクト」とは、パフォーマンス集団・悪魔のしるし が2008年から実施する演劇プロジェクトです。会場となる建物内にかろうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入するという彼らの代表的な作品です。

「かろうじて入る」ということは、普通には入らないということの意味します。搬入に際して半ば必然的に生み出される特殊で不安定な状態を前に、運び手や鑑賞者の間に混乱や緊張感が生まれ、それが一体感に繋がり、搬入に成功すると不思議と達成感に包まれます。建築空間と巨大な物体との間に人間の営みが介在することで、人間の感情の動きが生み出されていく。そのプロセスを「演劇」と捉えた本作は、どのような場所でも実施でき、また実施する場所や周辺環境によってパフォーマンスの内容が大きく変わっていく柔軟な作品として注目を集め、これまでに国内外の20箇所以上で実施されています。そして、本作は、2017年に団体主宰者の危口統之（きぐち・のりゆき）が逝去した後に、著作権が放棄。誰でも自由に改変して実施できる作品になり、新たな展開を見せ始めています。

今回開催する「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」は、そうした状況を背景に、悪魔のしるしの協力も得ながら、YCAMが物体の設計から搬入まで主体的に実施するものです。YCAMがこれまで培ってきた作品制作のノウハウや、ネットワークを駆使して制作された巨大物体が、YCAMに隣接する中央公園から、館内1階のホワイエへと搬入されます。

■ 悪魔のしるし



演出家の危口統之（1975年生～2017年没）が、2008年に結成。演劇的な舞台作品と、あるルールに則った即興要素のあるパフォーマンスなど、様々な作品の上演を重ねる。

舞台作品としては、危口自身とその実父が出演する『わが父、ジャコメッティ』（2014年、2016年）が、海外を含む6都市で上演され、パフォーマンス作品としては『搬入プロジェクト』が初演以来、国内外でも評価を受け、2016年までに8カ国20箇所での公演を重ねてきた。

危口統之没後の現在は、建築家の石川卓磨や、デザイナーの宮村ヤスヲ、企画・プロデュースの金森香らを中心に、危口統之の作品アーカイビング活動や、演出家の意志を継ぐ形で2019年に「搬入プロジェクト」のオープン化を宣言した。

作品への理解を深めるための関連イベントも開催！

公演前に開催する「搬入物体設計ワークショップ」は、YCAMの模型を使って、YCAMに搬入する物体の設計をおこなうワークショップイベントです。参加者が設計したものの中から優れたものを実際に制作し、YCAMでの公演当日に搬入します。

また、公演終了後には「搬入プロジェクト 山口・中園町計画ドキュメント」を開催。こちらはホワイエに搬入にされた物体を展示するとともに、搬入に先立っておこなってきた数々の実験の成果を紹介する資料展示です。

作品の背景への理解をより深めることができる関連イベントにもぜひご参加ください。



「搬入物体設計ワークショップ」の様子
(撮影：谷康弘)

開催概要

YCAM performance lounge #7

搬入プロジェクト 山口・中園町計画

2020年7月25日(土) 17:00 スタート

集合場所：山口市中央公園 鑑賞無料

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催概要が変更になる場合があります。予めご了承ください。

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

助成：文化庁 文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：悪魔のしるし

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

搬入物体設計ワークショップ

4月11日から6月14日までの土日祝日 各回 14:00～16:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

参加費：無料（※要申込）

YCAMにかりうじて入る物体をデザインするワークショップです。参加者がデザインした物体のうち、優れた物体は、YCAMが制作し、搬入します。

搬入プロジェクト 山口・中園町計画ドキュメント

8月1日(土)～9月6日(日) 10:00～19:00 火曜休館

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

入場無料

「搬入プロジェクト 山口・中園町計画」でホワイエに搬入にされた物体を展示するとともに、搬入に先立っておこなってきた数々の実験の成果を紹介する資料展示です。